



杉並景観録

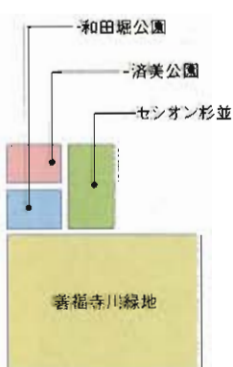
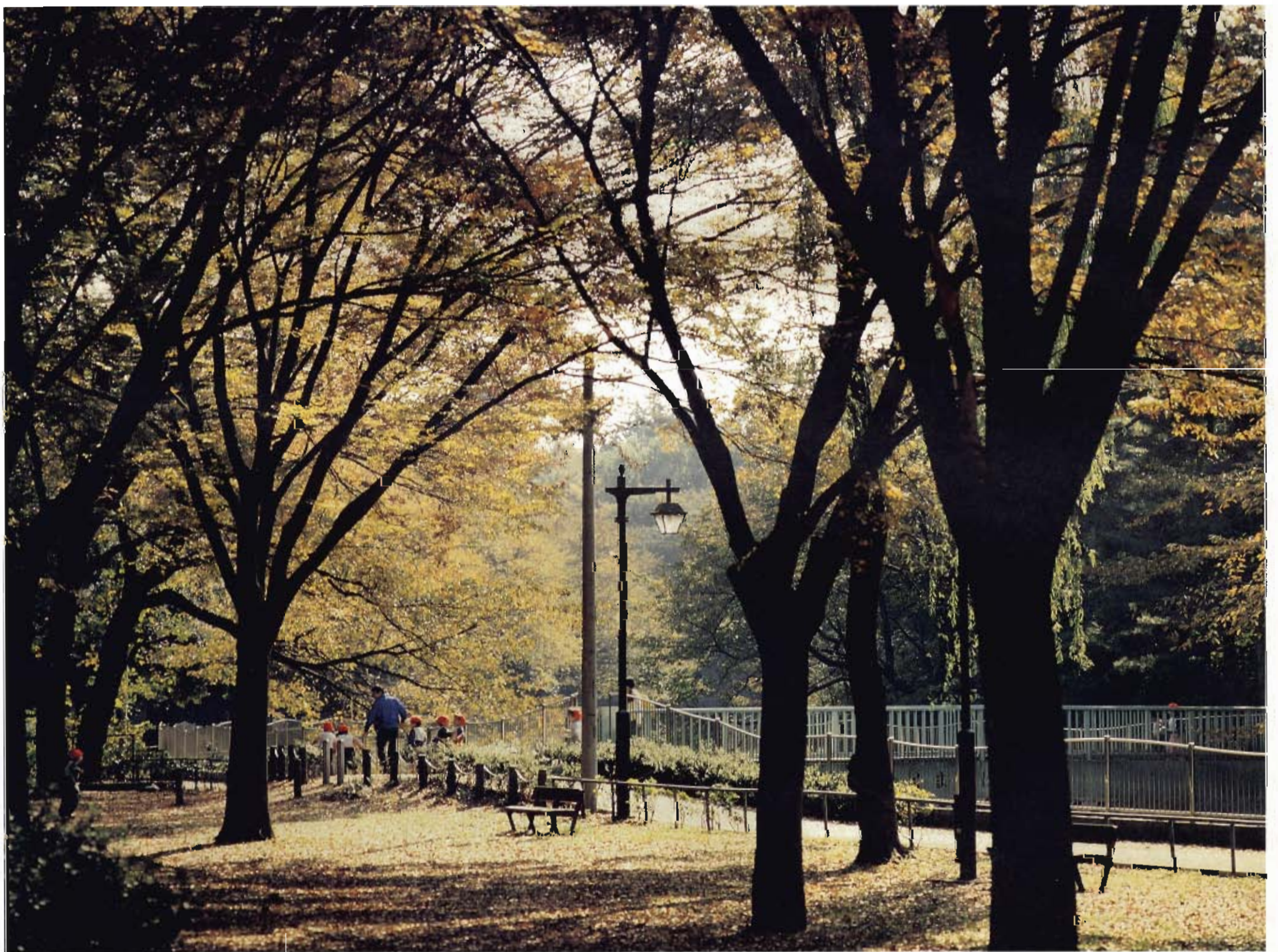
Keikann-Roku

SUGINAMI

第三号

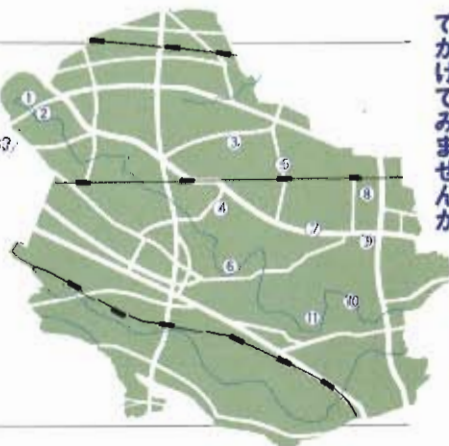


●発行日—平成8年10月15日
●発行—杉並区都市整備部まちづくり推進課
TEL.3312-2111(代)内線3515



写真「杉並の人とまち」より

- ① 善福寺公園の上池(善福寺3-18)
 - ② 善福寺公園の下池(善福寺2-31)
 - ③ 日大二高のイチョウ並木(天沼1-45)
 - ④ 大田風公園のイチョウ並木(荻窪3-33)
 - ⑤ 中杉通りのけやき並木
 - ⑥ 善福寺川緑地
 - ⑦ 青梅街道のイチョウ並木
 - ⑧ 高円寺(高円寺南4-18)
 - ⑨ セシオン杉並(梅里1-22)
 - ⑩ 済美公園(北ノ内1-27)
 - ⑪ 和田塚公園(大宮1-2)
- 〔杉並の人とまち〕より



秋になると思いたす光景があります
神社の境内で落ち葉を集めて焚き火をする
マッチの火を点けると
ぱちぱちという音が耳をくすぐり
もうもうと煙がわきでると
目にしみて涙目になりました
なぜかよける方へよける方へと
煙が追っかけてきたものです
最近はそのような光景も
珍しくなりました
落ち葉焚きとはいかないまでも
秋を探しにでかけませんか
区内にはまだまだ
素敵な並木、林があります
今の時期は
秋の表情を見せています
少しでも秋を近くに感じるために
でかけてみませんか

秋を探しに

昭和三十五年頃
西側の垣から見た浴風園



洋風庭園に囲まれた レンガ造りの建物



浴風会は、関東大震災で罹災したお年寄りを援護するために「老後の生活を心のままに楽しむ」という理念のもと大正十四年に設立されました。

約六万五千平方メートルの敷地には本館・礼拝堂・老人福祉施設や病院などがあります。浴風園ほか四施設の利用者は、約九百人でおおよそ八割が女性です。また利用者の過半数は杉並区に居住していた人々です。機能回復訓練やシヨ

ートステイなど杉並区が委託している各種在宅サービス事業は、年間延べ二万人以上の人々に利用されています。

レンガ造りの本館や礼拝堂を囲む庭園には、手入れのゆきとどいた植込みがありケヤキ・ヒマラヤスギなどの木立が茂っています。病院の中庭の池では、春になるとカルガモのヒナが育ち、入院されている人や診察に来られた人の目を楽しませてくれます。

国分 私が浴風会に勤めた昭和二十二年頃、バス路線はなくて、荻窪へ行く時は歩いて行きました。神田川では泳いでいる人や、鯉やウナギを捕っている若い人がいましたね。高井戸駅の西側は田んぼで、白鷺が飛んで来ているのを見ました。

渡辺 高井戸駅へ行く途中の環状八号線沿いにある築山医院の辺りまで行くと富士見ヶ丘駅が見え、上り電車が来るのが分かりました。急げばその電車に乗れたものです。

国分 改装前の高井戸駅は、木の階段で江原真二郎さん出演の「純愛」という映画の一場面に使われたことがあります。浴風会本館もよくテレビドラマの撮影に使われています。ロケーションが珍しくて皆さんと一緒に見たものです。

渡辺 本館正面を、よく病院や学校に見立てていますが、刑務所にされた時は驚きました。

国分 春はNHKグラウンドの桜がきれいで皆さんと一緒にお花見に行きました。玉川上水に沿って吉祥寺まで散歩して、帰りは井の頭線の電車で帰って帰って来たこともあります。

高橋 私達が入園できたのは、松風園の夫婦室が五

Interview

高井戸駅の西側は 田んぼで、白鷺が飛んで来ているのを見ました



室だった頃です。主人は、六十代半ばで入園したので園内の草むしりや修理を、よく頼まれていました。女性の入園者や病院の掌削師さんからも「お父さん」と声をかけられたものです。夫婦で住んでいた

頃は、中央自動車道の向こうの畑までナスやキュウリを買いにいきました。

国分 私は、浴風会病院の新築披露の仕事を最後に退職しました。その後も事務の手伝いをさせていただきましたが、七十歳の時に松風園に入りました。

高橋 娘が孫を連れて遊びに来ると、近くの公園に行くこともあります。今年の五月には長男のお嫁さんと一緒に九州旅行をしました。お父さんは、介護が必要になったので、四階建の第三看護園が新築された時そちらへ転園しました。お父さんの個室は、天気がいよいよ富士山がよく見えます。

PROFILE



国分ヨシさん
KOKUBU Yoshi
昭和52年から入園
89歳
元浴風会職員



高橋はつをさん
TAKAHASHI Hatsuo
昭和48年から入園
83歳



渡辺正雄さん
WATANABE Masao
昭和29年から
浴風会に勤務
浴風会ケアハウス園長

富士が見える 風景

富士の名のつく坂は、今でも多く東京に残っています。ほとんどは、西向きの坂だそうす。渋谷の宮益坂も古くは富士見坂と呼ばれていました。

この他にも、富士の名のつく坂、町、橋などは関東地方に百ヶ所以上あります。杉並区内にも、井の頭線の富士見ヶ丘駅があります。駅の北側の高台からは、富士山がよく見えたそうです。今では、これら富士の名のつくところから、その姿を見ることのできる場所は少なくなりました。しかし、少し探すと富士山の見える場所はまだ数多く残っています。中央線の電車、高架線のホームまたビルやマンションから丹沢の山越しに、美しい姿を見ている方も多々あります。

空気の澄んだ朝、自分の見つけた場所から眺める富士山は格別です。



すぎなみ／ひと／まちなみ

SPECIAL EDITION



高井戸は、杉並区なかで比較的にの多い地域です。神田川沿いの一帯は、企業や官庁のグラウンドが数多くあります。環状八号線から一步入った住宅地には、苗木や野菜を栽培している広い畑が点在しています。

江戸時代の高井戸は、甲州街道に宿場が置かれ旅籠や商家もありましたが、街道筋以外は杉林や雑木林に囲まれて、わずかな田畑と人家が点在していたと伝えられています。大正になって関東大震災以降、多くの人々が移住し、高井戸地域の人家は約2倍に増えました。一方、神

杉並区の南部を流れる神田川は井の頭池を水源として善福寺川などと合流し、隅田川へ注いでいます。かつては神田上水と呼ばれ江戸に住む人々の飲み水でした。



高井戸 界限 緑の多い住宅地



昭和28年頃の神田川

田川沿いの宅地化が進んだのは、昭和八年に井の頭線が開通してからのことです。井の頭線高井戸駅は、環状八号線の真上を東西に横切るように造られています。ホームに立つと四方が見渡せます。東側は森のように樹木が茂り、西側は並木や農地の緑が連なっています。

駅近くの杉並清掃工場は地域の人々と行政との十七年間の話し合いによって、周辺環境との調

高井戸駅近くの川沿いの道は、東京都が指定した「歴史と文化の散歩道」杉並コースの一部です。この散歩道を下流にある塚山公園まで散策します。途中の川の中には、大きな鯉が群れ泳いでいます。道では犬の散歩に来た人々が、言葉交わし合っている光景も見受けられます。池袋橋から坂を上り、高井戸東小学校手前の道を左に入ると三泉湖緑地につきます。緑地には約一五十種の野草が植えられています。

神田川沿いの散歩道



和を配慮して建てられました。隣接する高井戸市民センターの各施設では工場からの熱エネルギーが利用されています。秋祭りや演じられる高井戸囃子の軽やかな拍子を聴いていると、緑の多い環境を守り伝統を育む地域の人々の心意気を感じます。

散歩道に戻り乙女橋・堂ノ下橋を過ぎると駅から約三分の道のりで、塚山公園につきます。このあたりは豊かな自然に恵まれて、古代の人々にとっても住みやすい所であったらしく、区内屈指の集落があったと言われています。園内の広場には縄文中期の復元住居、展示室では土器などが見られます。さらに木々に囲まれた園路を進むと池のある広場にでます。休日は家族連れでにぎわっています。駅に戻る道は、清掃工場の煙突がよく見えます。煙突は、高井戸のランドマークとなっています。

N

E 杉並景観録 W

S

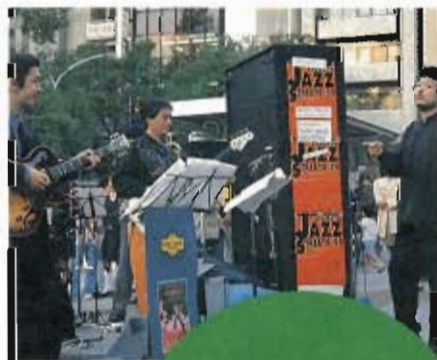
ASAGAYA JAZZ STREETS'96

あさがやへ行こう!
ジャズを聞こう!
阿佐谷 JAZZ STREETS'96

10/26(sat)・27(sun)

ケヤキ並木で親しまれている阿佐谷は、井伏鱒二などのいた文士村で知られるように多くの作家が住んでいました。また、多くのジャズミュージシャンを輩出してきたまちでもあります。その土地柄をいかした「阿佐谷 JAZZ STREETS」が、大変好評だった昨年に引き続き開催されます。

期間中、商店街にはジャズが流れ、デキシーバンドが練り歩きます。神明宮の神楽殿や杉並第一小学校体育館などでは、ジャ



Let's SWING!



ズバンドによる生演奏が行われます。また、駅前広場などの屋外スポットではストリートジャズが行われ、まちの雰囲気盛り上げます。

このイベントは、多くのまちの人々の協力に支えられています。昨日まで知らなかった人同士が顔見知りになり、地域の輪が広がっています。そんな人たちが、この阿佐谷をもっとよいまちにしていこうと盛り上がってきました。

まちづくりシンポジウム
学生と語る
阿佐谷10/26(sat) 12:30~
産業商工会館展示場

東京電機大学建築学科では、阿佐谷を対象としてまちづくりに関する講座が行われています。

そこで、学生が行った地区調査を参考に、地元の皆さんと講座を指導している先生、自治体の都市デザイン担当者などが参加して、阿佐谷のまちづくりについて語り合うシンポジウムを開催します。

皆さんも会場にきて、阿佐谷のまちについての思いとご意見をお聞かせください。

弦楽四重奏や野点を
文化の日楽しむ

杉並区では、まちの個性やまちの文化について、区民の皆さんと一っしょに考えていくため、11月3日文化の日には区立大田黒公園を会場に、弦楽コンサートと野点を開催します。

2日には、大田黒公園周辺にお住いの方々のまちづくりグループ「座・大田黒」と一っしょに、SP盤を中心に、クラシックレコードをきく会を行います。

玉川上水の
面影を求めて

玉川上水は江戸時代から杉並区内を流れていました。今では、久我山より下流は暗きよとなっていますが、上流は当時の面影をとどめています。

下流の一部は公園として利用されています。今回、明治大学和泉校舎付近の玉川上水公園を昔の橋の一部を再現するなど、流れのあった頃がしのばれるような改修を行います。完成は来春の予定です。

散歩道として、のんびり歩いてみませんか。

「まちなみを描く会」の
展示会を開催します

第6回「まちなみを描く会」が9月28日に善福寺公園周辺の地域で開催され、たくさんの参加者が絵筆をふるいました。10月26日(土)・27日(日)に、荻窪地域区民センターでこの時の絵の展示会を行います。

また、この作品の中から4点を、今年も官製はがきにする予定です。同時に絵はがきの表紙になる絵を募集します。(絵はがき第2集~第5集は、公社で発売中です。)



問合せは

(財)杉並区まちづくり公社
〒166杉並区阿佐谷南3-1-33
TEL.03-3220-4351